

令和4年度第1回宇治市行政改革審議会における主な意見要旨

令和4年度第1回宇治市行政改革審議会（8月2日）

宇治市第7次行政改革実施計画の取組状況及び総括（案）について

P3 総括について

◆多くがA評価・B評価で良い結果が出ていると思いますが、C評価となっている「新たな歳入創出と財源の確保」について、歳出の見直しも大事ですが、やはり歳入の確保が宇治市を活性化させることになるので、第8次行政改革において、引き続き、取組を進めて欲しいと思います。

宇治市第8次行政改革について

基本施策1 時代に即した行政サービスの推進（P4）

◆行政サービスのデジタル化を進めることによって、効率化を図り、コストの削減を進めることは良いと思いますが、対面に対応していく部分が残ると思います。まちづくりを進めるためには、今まで以上に市民協働の部分に力を入れていく必要があるので、そういう取組も並行して進めていただければと思います。

基本施策2 適正かつ健全な行財政運営の確立（P6）

◆各種公金における収納方法の充実では、令和7年度に98%の数値目標を設定されていますが、令和3年度の実績値98.05%よりも低いものになっているのは何故でしょうか

- 第8次行政改革実施計画は、過去実績を踏まえて98%を数値目標とし、策定しましたが、その後、令和3年度の実績では98%を達成している状況です。
本計画は、達成状況等により適宜削除や追加や見直しを計画期間中に行うこととしているので、数値目標について改めて検討します。

基本施策3 連携と協働によるまちづくりの推進（P8）

◆2-①多様な業務分野におけるさらなる民間活力の導入において、令和6年度に水道営業業務委託事業拡大を位置付けているが、水道は市民生活の中で重要な部分であり、市民サービスの低下にならないよう進めて欲しいと思います。

その他

◆行政改革について、市民の方にも関心を持ってもらうことが重要であり、市政だより、HPだけの情報発信ではなく、もっと市民周知の方法を充実されることが取組の推進につながると思います。

- 現在、宇治市が何を取り組んでいるか、効果的に周知できている状態ではないので、令和4年度から広報戦略に取り組んでいくことで考えています。また、色々な施策を実施するにあたって、しっかりと市民のお声を聞くためにも、職員が地域に出てお話を伺うなど、様々な手法を用いてしっかりとやっていきたいと考えています。